

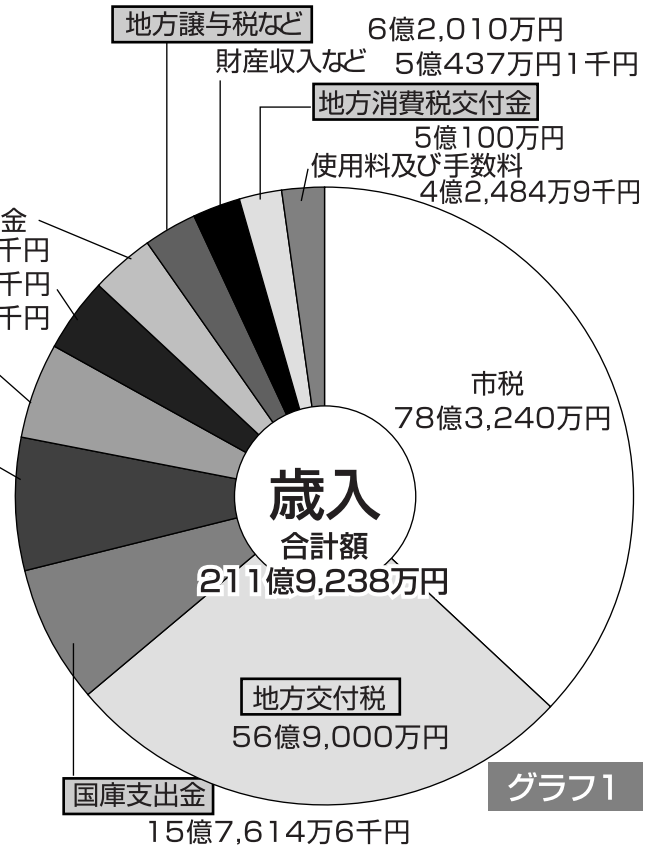
一般会計

□ は依存財源を表しています。

分担金及び負担金 6億5,949万4千円
 諸収入 8億4,950万7千円
 県支出金 10億6,861万3千円

歳入

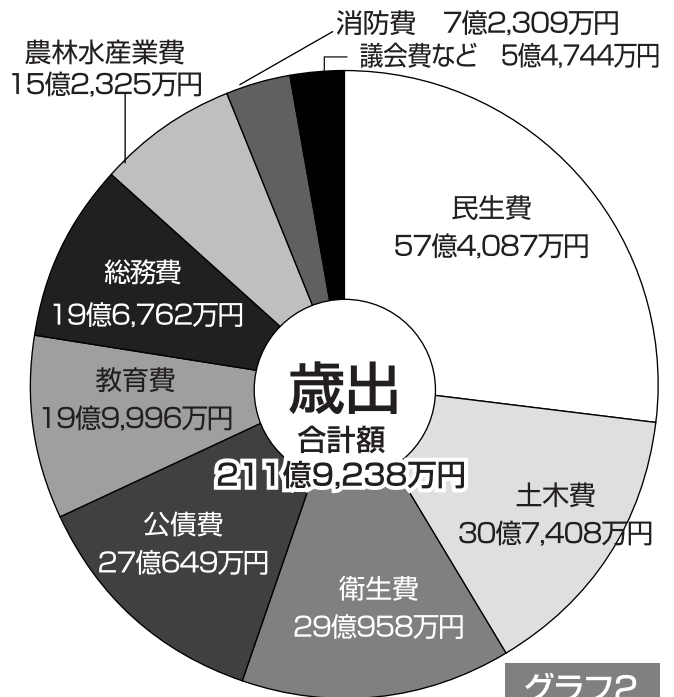
は、市に入ってくるお金です。グラフ1のとおり、固定資産税や個人市民税及び法人市民税などの市税が全体の4割に近い額を占めています。続いて多いのが地方交付税で、57億円に近い額となっていますが、5年前と比較し約15億円の減少となっています。自主財源の比率は、48.5%となっています。歳入全体では、前年度比1.3%のプラス（予算ベース）になっています。



グラフ1

歳出

は、市民の皆さんに対して使われるお金です。グラフ2を見てみると、民生費が一番多く、福祉を充実させるために多くのお金が使われていることがわかります。これに土木費、衛生費が続いています。歳出全体では、前年度に比べ、約3億円のプラス（予算ベース）になっています。



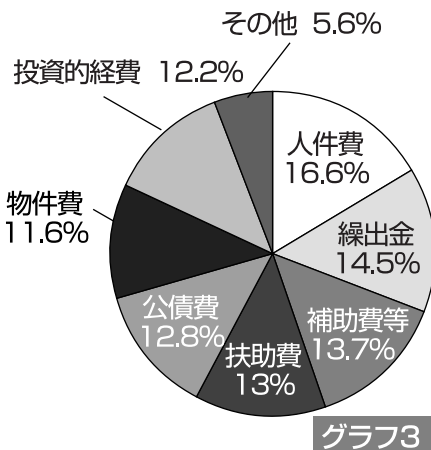
グラフ2

市民一人あたりの市税 138,362円

市民一人あたりに使われるお金 374,371円

【内訳】

民生費	土木費	衛生費	公債費	教育費	総務費	消防費	その他
10万1千414円	5万4千305円	5万1千399円	4万7千811円	3万5千330円	3万4千759円	1万2千774円	3万6千579円
子育て支援、高齢者対策などの福祉に使われるお金	道路や港を建設・修繕するためのお金	ごみの処理やリサイクル、環境対策に使われるお金	市の借入金返済のためのお金	学校・図書館などの運営や施設を維持していくためのお金	市の運営のために使われるお金	消防や防災事業などに使われるお金	商業・農業の振興などに使われるお金



グラフ3

歳出の性質別内訳

グラフ3のうち、物件費は物品の購入や業務委託などに、扶助費は福祉に、投資的経費は道路や施設の建設のために使われるお金です。また、繰出金は特別会計へ支出されます。

人口56,608人(平成19年3月31日現在)で算出